

## 第5回国立国会図書館契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成22年2月15日(月)午前9時56分から午前11時30分 国立国会図書館総務課第二会議室及び関西館特別会議室	
委員長及び委員	委員長 山口俊明(公認会計士) 委員 本田実(城西国際大学IT教育センター教授) 委員 後藤和子(埼玉大学経済学部教授)	
審議対象契約期間	平成21年4月1日～平成21年12月28日	
指名停止の運用状況	なし	
抽出事案(件)	3	(備考)事案総数 253件
競争入札(公共工事)(件)	0	
随意契約(公共工事)(件)	0	
競争入札(物品役務等)(件)	3	<p>契約件名:国立国会図書館東京本館における図書館資料の出納等作業(新館分)1式 契約相手方:日本通運株式会社東京ベイエリア支店 契約金額:245,700,000円 契約締結日:平成21年4月1日 担当部局:総務部会計課</p> <p>契約件名:事務用端末機器等(2010)1式の購入 契約相手方:新日鉄ソリューションズ株式会社 契約金額:196,875,168円 契約締結日:平成21年11月10日 担当部局:総務部会計課</p> <p>契約件名:昭和前期刊行図書の著作権処理(第1期)作業1式 契約相手方:丸善株式会社 契約金額:164,829,000円 契約締結日:平成21年10月15日 担当部局:関西館総務課</p>
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり。 ただし、「ジャパンナレッジの利用」(株式会社ネットアドバンス、平成21年4月1日契約)についての質問は、後日文書回答。	
委員会による意見の具申又は勧告	なし。	
抽出委員の選出	本田委員を次回抽出委員に指定した。	

## 別紙

意見・質問	回答等
<p>出納作業のような規模の大きい案件は、作業内容を分割することで競争参加がしやすくなるのでは。1者入札を減らしていただきたい。</p>	<p>小規模業者の参入が難しく、ヒアリングの結果、指定管理者制度を想定する業者の思惑などがあることがわかった。</p>
<p>出納作業の予定価格は、随意契約のときと競争入札のときとで、積算方法は変わったか。</p>	<p>会計実地検査でのやり取りをふまえて積算方法を見直し、より現実に近い形で行うようにした。</p>
<p>端末機器の購入契約と保守契約との関係、運用の状況は。</p>	<p>購入時は、購入金額と4年間の保守料の合計で競わせる。 約1,300台のPCを2回に分けて調達しており、保守業者が2社入っている。別契約のヘルプデスクのところで振り分けている。</p>
<p>端末機器を購入するにあたり、低い落札率となった理由は。</p>	<p>賃貸借契約から購入契約に切り替えただけで、リース会社との調整がなくて済んだため。</p>
<p>著作権処理が関西館のみの契約案件である理由は。関西地方の企業が参加できる余地はあるか。</p>	<p>担当部署が関西館にあるため。館内での作業ではないので、実施場所は限定していない。関西地方の企業が応じたことはないが、その余地はある。</p>
<p>丸善㈱が他の応札者より低い金額で落札できた理由は。</p>	<p>過去の実績があり、他の入札案件も落札しており、2つの作業を効率的に行うためと思われる。</p>
<p>全般的に見たときの、個々の案件の契約金額、落札率が低い理由は。不況だからこの金額になるということも考えられる。</p>	<p>当館の現況をより知っている業者が、落札する意欲が強いことがある。</p>
<p>随意契約で予定価格と契約金額に大きな開きがある案件がある。</p>	<p>(後日回答) 予定価格は優待価格の料金表を適用して積算していたが、提供業者は電子出版物の形態で納本済みだったため、そのバージョンアップ価格を提示していた。</p>
<p>審議に慣れてきたので、次回からは5件程度抽出することにしたい。</p>	